



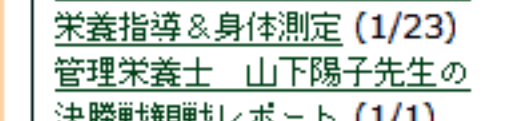
### 2008年12月3日

#### 熱戦! レッドスターベースボールクラブ決勝

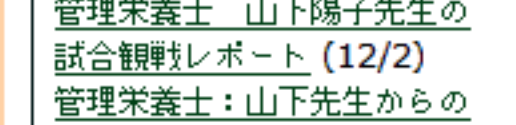
#### 「炭水化物を摂ることが大切なんです」

#### 「3日前からきっちりと準備します」

11月2日の山下先生の講演の後、レッドスターの選手たちの言葉に傳りありませんでした。11月9日にはあった第2回レッドスターベースボールクラブ。レッドスターのナインはきっちりとエネルギーを補給し、きっちりと準備をして、全勝で予選を通過、準決勝も勝ち上がっていき決勝へ。12月7日、決戦の日はもちろん絶賛する天然芝のスタジアム、スカイマークスタジアムでおこなわれました。



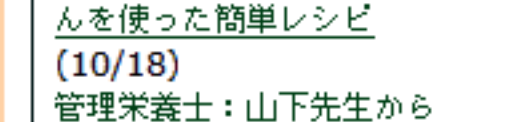
決勝に先立ち、3位決定戦で、準決勝でレッドスターに取られた予選2位の夢クラブと阪山と、奈良サンマリーンズを破った予選3位の天王寺シニアの対決です。この勝者が決勝戦の相手となるので、レッドスターのベンチ入りメンバーはバックネット裏から真剣なまなざしで観戦、指手を分ります。試合は4回立ち上がりには2点ずつ取り合った後は投手戦。社大スタジアムに入ったのがこの日のひびきたりしたボールは見えては気持ちいもの。ファウルフライを打った小田原選手は飛び込むシンもあって、それでもその意志が伝わります。5回には2点を加えた夢クラブと阪山がそのまま逃げ切り勝利、レッドスターと決勝で再戦することになりました。



夢クラブ和歌山のリベンジか? レッドスターの返り討ちか? 突き抜けるような高い球の空へサレインが鳴り響いて決勝戦のプレイボール! 先手のレッドスターは2番の若田君がエラーで出塁、3番松岡君の進塁打で得点圏へ進みチャンス。ここで4番の岡君は抜いて打ったが、アランキーンとことにはセカンド正面のライナーでスリーアウト。

その裏はエースの金田君が登壇。139球の剛速球と93球口のスローカーブを投げ分け得意な打球を振り回す。初回に岡君がエラーで出塁、4番の松岡君はダブルで走り、チームランに導いて進塁打を打ち、1-3塁にチャンスは拡大。6番キャプテンの佐々木君の打席でホームイン! さらに中田原選手がセンターオーバーの打球を打ち、タイムリーで1点追加! 打った竹内君は進塁3塁を試みるも残念ながらタッチアウトに。それでもその意志が伝わる足踏は観戦者もやんやんの大拍手でした。この種落性こそレッドスターの持ち味なのです。

すると、その気持ちも備えました。日が暮れ照明が灯された6回、3番松岡君がセンター前にクリーンヒットを放つと観戦者もデモンストラーションアップ! 4番の若田君は、岡君の打球をライント前にライナーと走り、1-2塁のチャンスを出し、既に5番の小田原君はダブルで走り、チームランに導いて進塁打を打ち、1-3塁にチャンスは拡大。6番キャプテンの佐々木君の打席でホームイン! さらに中田原選手がセンターオーバーの打球を打ち、タイムリーで1点追加! 打った竹内君は進塁3塁を試みるも残念ながらタッチアウトに。それでもその意志が伝わる足踏は観戦者もやんやんの大拍手でした。この種落性こそレッドスターの持ち味なのです。



2回のリードでもらったエースは気持ちますます入り、6回には3三振、7回裏は背番号18を背負った若田君がセンター前にクリーンヒットを打ち、既に5番の小田原君はダブルで走り、チームランに導いて進塁打を打ち、1-3塁にチャンスは拡大。6番キャプテンの佐々木君の打席でホームイン! さらに中田原選手がセンターオーバーの打球を打ち、タイムリーで1点追加! 打った竹内君は進塁3塁を試みるも残念ながらタッチアウトに。それでもその意志が伝わる足踏は観戦者もやんやんの大拍手でした。この種落性こそレッドスターの持ち味なのです。

引続き閉会式が、レッドスターベースボールクラブ理事長・副社長タイガースの赤星憲広さんから手渡された優勝カップは、熾然と輝いています。MVPはタイムリーを放った竹内君でした。応援も裏方もしっかりと大会を支えてきた1年生や2年生も、今回の勝者です。閉会式の後、若田監督を称して「監督も偉い方です。ありがとうございます。」「試合中ずっと応援してくれて、ありがとうございます。」「試合後の試合でもいろいろとお話聞いています。」「試合でやってくれたのは、本当に嬉しいです。ありがとうございます。試合後にいろいろとお話聞いています。」「試合でやってくれたのは、本当に嬉しいです。ありがとうございます。試合後にいろいろとお話聞いています。」「試合でやってくれたのは、本当に嬉しいです。ありがとうございます。試合後にいろいろとお話聞いています。」

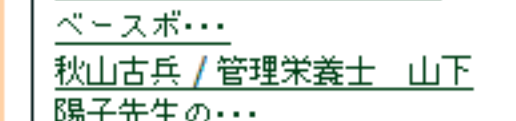
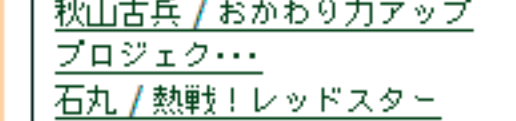
試合で勝った後に、かまど降から「おめでとう」の心こめて、飲きたてのかまどごはんを差し入れて。山下先生が「スムーズな優勝には、さよなめ茶会準備が必要ですよ。かまどごはんの味と勝利の喜びが、思う存分味わってください」と促すと、さすがは食べ慣れた中学生、もちろんと飲きたてのごはんをかまどでいただきます。そして赤星さんが登場。さっそく試合を見ていただきましたが、おほい...? 「本当においいです! 白いごはん大好きです! これだけでも充分なくらいですよ。いつもごはんに合わせておかずを選んでください。試合前には必ずごはんを炭水化物を補給してください。」

広い甲子園をこの球と駆けめぐれる快足の源は、どうやらごはんにあることがわかってきました。今回の優勝については、「最後の試合を楽しんで、勝つと突進するけどチームが一つになった結果です」と語るキャプテンの佐々木君は「プロ野球選手」。」「試合でやってくれたのは、本当に嬉しいです。ありがとうございます。試合後にいろいろとお話聞いています。」「試合でやってくれたのは、本当に嬉しいです。ありがとうございます。試合後にいろいろとお話聞いています。」「試合でやってくれたのは、本当に嬉しいです。ありがとうございます。試合後にいろいろとお話聞いています。」

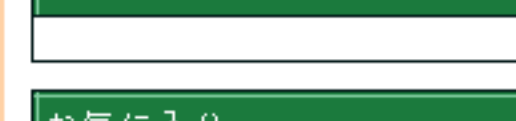
10時30分、ボツツと雨が降り始めるものの、なんとかもちろなで欲しいと願う中、RED STAR BASEBALL CLUB vs 神戸西シニアの試合が始まりました。先攻は神戸西シニア、RED STAR BASEBALL CLUBの選手達は守備につき、球場全体がなんともいえない緊張感で包まれます。

雨 ☁️ はどどんと音を響かし、さらにお日様が覗き Ⓞ に隠れたせいで気温も上がらず、冬のような寒さ。ずぶ濡れ、どろんどろん、ボールはすべり、手もかじりか、思うようなプレイができないコンディションです。

しかし試合はとも中学生とは思えないほど、ハイレベルな展開で進行していきます。両チームともなかなか先制点が取れません。RED STAR BASEBALL CLUBはピッチャーの好投と確実な守備で、相手に点数許しません。



一方、攻撃ではチャンスが何度も到来したものの、相手チームも点を与えてはくれません。



試合は5回表まで0対0で進みます。遊撃手には、ベンチ前で陣取り合ひ、監督が的確かつ温かいアドバイスを行います。遊撃手は真剣な眼差しで監督の話を聞き、最後に掛け声をかけて試合に入ります。



ベンチ側では熱い見守りです。試合が終わると先づ練習を兼ねていた応援歌で、プレーヤーを称賛し、チームメンバーも熱い見守りです。観戦に来られたご父兄の方々も必死の応援です。



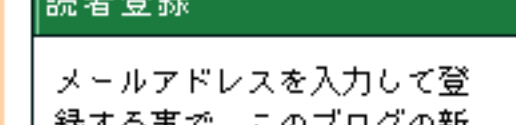
私も我が事のように必死で応援を送りました。でも、恥ずかしながら「OOくん、がんばれー! がんばれー! 」もう少し気の利いた声援が送れないものかと、試合中いろいろと考えてはいたものの、結局、最後まで「がんばれー! 」しか言えませんでした。次まで試合ももう少し考えようとおきますね。

さて試合は少し早いのは、5回裏、RED STAR BASEBALL CLUBの攻撃です。ランナーは置、得点のチャンス到来で、チームのテンションは最高潮となり、みんなの期待も高まります。

私も手に汗握り、試合をしっかりと見ることができないくらい心臓ドキドキで折りました。

## 「カキーン」

球場に響き渡るような大きな音が響きました。興奮して打球をしっかりと見る余裕もなかったため、ボールがどこへ飛んだのか、覚えていないのですが、続々と生音がホームベースに向かってきます。男 打った選手は2塁にいます。



見事なツーベースヒット! 3点を先制しました! ⚾️

打球の音が響き渡り、一瞬球場全体が静まり返り、その後すぐに大歓声が湧き上がりました。その瞬間、私は鳥肌が立ちました。そしてご父兄の方々と一緒に喜び合いました。

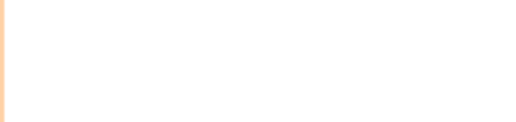
勢いのついたRED STAR BASEBALL CLUBチームは、さらにヒットで1点を追加し、この回に4点を獲得しました。



しかし、神戸西シニアもなかなかのツワもので、すぐ次の6回裏には反撃はできません。RED STAR BASEBALL CLUBは?



しかし2点を追われたものの、落ち着いたプレーで、同点の回を乗り切りました。私はピッチャーの好投と高度な守備に、感動しました。



勢いづいた止まらないRED STAR BASEBALL CLUBチームは6回裏にさらに1点を加え、5対2と、いよいよ最終局面。この回を抑えれば、勝利です。

結局、雨は強まることがなく、コンディションの悪い中ではあったものの、選手は最終回も集中心力を切らすことなく、確実な守備で守りきり、ゲームセット。



5対2でRED STAR BASEBALL CLUBの勝利です。素晴らしいゲームに私は感激しました。本当にありがとうございました。

監督やコーチと選手の間には信頼関係。試合に出場しているにないに関わらず、みんなで一つのチーム。チーム主催の試合であるため、試合がスムーズに進行するよう、裏で頑張るチーム関係者やご父兄の方、後援チームメイトたちの姿。

いろいろな姿を見させていただき、心が折れてしまった試合でも、さまざまなシーンを通して、勝利の喜びを共感する貴重な試合観戦となりました。 ⚾️

ところで実際に試合で対戦した選手たちは、この前の私の話を参考に、黄色い食べ物でグリコーゲン補給をしてくれたのでしょうか? 残念ながら、試合後に選手の話を聞くことはできませんでしたが、今回インテリジェントという思いです。

今日の勝利は、日々練習で練習してきた努力と、グリコーゲン補給も助けとなって取られた勝利でもあります。私は嬉しかったです。

次回12月7日の決勝トーナメント! !

黄色い食べ物でグリコーゲン貯金をたっぷりして、優勝目指して頑張ってくださいね。

心から応援しています

YOKO先生でした ⚾️



タグ: レッドスター 管理栄養士 ビンコンスタジアム グリコーゲン

Posted by レッドスター at 08:37 | Comments(1) | TrackBack(0)

### 2008年12月2日

#### 管理栄養士 山下陽子先生の試合観戦レポート

★ YOKO先生のRED STAR BASEBALL CLUB CUP 観戦レポート/予選リーグ編 ♪

11月24日ハッピーマンデー! 3連休の最終日。朝日までの天気とは違って、天気予報は雨 ☁️

観戦はなんとか雨は降っていませんでしたので、予定どおりRED STAR BASEBALL CLUB CUP予選リーグが、ビンコンスタジアム (宝塚市) にて開催されました。

RED STAR BASEBALL CLUB CUPは、RED STAR BASEBALL CLUBが主催する大会で、今年で2回目の開催です。関西の中学生連対野球チーム (12チーム) が参加して、白熱の試合を繰り広げます。

RED STAR BASEBALL CLUBの3年生にとっては、これまで生きてきた努力の集大成ともいえる大切な大会です。

この日は決勝トーナメント進出をかけた試合とお聞き、私も応援に参りました! ♪ さっそく試合の内容をレポートしたいと思います!

10時30分、ボツツと雨が降り始めるものの、なんとかもちろなで欲しいと願う中、RED STAR BASEBALL CLUB vs 神戸西シニアの試合が始まりました。先攻は神戸西シニア、RED STAR BASEBALL CLUBの選手達は守備につき、球場全体がなんともいえない緊張感で包まれます。

雨 ☁️ はどどんと音を響かし、さらにお日様が覗き Ⓞ に隠れたせいで気温も上がらず、冬のような寒さ。ずぶ濡れ、どろんどろん、ボールはすべり、手もかじりか、思うようなプレイができないコンディションです。

しかし試合はとも中学生とは思えないほど、ハイレベルな展開で進行していきます。両チームともなかなか先制点が取れません。RED STAR BASEBALL CLUBはピッチャーの好投と確実な守備で、相手に点数許しません。



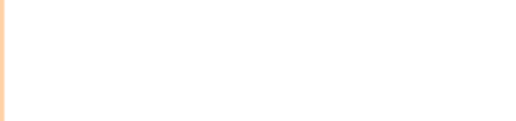
一方、攻撃ではチャンスが何度も到来したものの、相手チームも点を与えてはくれません。



試合は5回表まで0対0で進みます。遊撃手には、ベンチ前で陣取り合ひ、監督が的確かつ温かいアドバイスを行います。遊撃手は真剣な眼差しで監督の話を聞き、最後に掛け声をかけて試合に入ります。



ベンチ側では熱い見守りです。試合が終わると先づ練習を兼ねていた応援歌で、プレーヤーを称賛し、チームメンバーも熱い見守りです。観戦に来られたご父兄の方々も必死の応援です。



私も我が事のように必死で応援を送りました。でも、恥ずかしながら「OOくん、がんばれー! がんばれー! 」もう少し気の利いた声援が送れないものかと、試合中いろいろと考えてはいたものの、結局、最後まで「がんばれー! 」しか言えませんでした。次まで試合ももう少し考えようとおきますね。

さて試合は少し早いのは、5回裏、RED STAR BASEBALL CLUBの攻撃です。ランナーは置、得点のチャンス到来で、チームのテンションは最高潮となり、みんなの期待も高まります。

私も手に汗握り、試合をしっかりと見ることができないくらい心臓ドキドキで折りました。

## 「カキーン」

球場に響き渡るような大きな音が響きました。興奮して打球をしっかりと見る余裕もなかったため、ボールがどこへ飛んだのか、覚えていないのですが、続々と生音がホームベースに向かってきます。男 打った選手は2塁にいます。



見事なツーベースヒット! 3点を先制しました! ⚾️

打球の音が響き渡り、一瞬球場全体が静まり返り、その後すぐに大歓声が湧き上がりました。その瞬間、私は鳥肌が立ちました。そしてご父兄の方々と一緒に喜び合いました。

勢いのついたRED STAR BASEBALL CLUBチームは、さらにヒットで1点を追加し、この回に4点を獲得しました。



しかし、神戸西シニアもなかなかのツワもので、すぐ次の6回裏には反撃はできません。RED STAR BASEBALL CLUBは?



しかし2点を追われたものの、落ち着いたプレーで、同点の回を乗り切りました。私はピッチャーの好投と高度な守備に、感動しました。



勢いづいた止まらないRED STAR BASEBALL CLUBチームは6回裏にさらに1点を加え、5対2と、いよいよ最終局面。この回を抑えれば、勝利です。

結局、雨は強まることがなく、コンディションの悪い中ではあったものの、選手は最終回も集中心力を切らすことなく、確実な守備で守りきり、ゲームセット。



5対2でRED STAR BASEBALL CLUBの勝利です。素晴らしいゲームに私は感激しました。本当にありがとうございました。

監督やコーチと選手の間には信頼関係。試合に出場しているにないに関わらず、みんなで一つのチーム。チーム主催の試合であるため、試合がスムーズに進行するよう、裏で頑張るチーム関係者やご父兄の方、後援チームメイトたちの姿。

いろいろな姿を見させていただき、心が折れてしまった試合でも、さまざまなシーンを通して、勝利の喜びを共感する貴重な試合観戦となりました。 ⚾️

ところで実際に試合で対戦した選手たちは、この前の私の話を参考に、黄色い食べ物でグリコーゲン補給をしてくれたのでしょうか? 残念ながら、試合後に選手の話を聞くことはできませんでしたが、今回インテリジェントという思いです。

今日の勝利は、日々練習で練習してきた努力と、グリコーゲン補給も助けとなって取られた勝利でもあります。私は嬉しかったです。

次回12月7日の決勝トーナメント! !

黄色い食べ物でグリコーゲン貯金をたっぷりして、優勝目指して頑張ってくださいね。

心から応援しています

YOKO先生でした ⚾️



タグ: レッドスター 管理栄養士 ビンコンスタジアム グリコーゲン

Posted by レッドスター at 08:37 | Comments(1) | TrackBack(0)

≪ 2008年12月 ≫						
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

#### カテゴリ

#### 最近の記事

- おかわりカUPプロジェクトの成果報告 (2/12)
- 管理栄養士 山下陽子先生の卒業指導員生活報告 (1/23)
- 管理栄養士 山下陽子先生の決勝観戦レポート (1/1)
- 熱戦! レッドスターベースボールクラブ決勝 (12/31)
- 管理栄養士 山下陽子先生の試合観戦レポート (12/2)
- 管理栄養士: 山下先生からのメッセージ【生後指導教室・後編】 (11/28)
- 管理栄養士: 山下先生からのメッセージ【生後指導教室・前編】 (11/27)
- 管理栄養士: 山下先生の卒業指導教室開催 (11/16)
- 山下陽子先生お誕生日おめでとうございます! (10/18)
- メッセージ【後編】卒業指導員生活報告 (10/11)

#### 過去の記事

- 2009年02月
- 2009年01月
- 2008年12月
- 2008年11月
- 2008年10月
- 2008年09月

#### 最近のコメント

- YOKO先生 / おかわりカUPプロジェクト...
- RED53 / おかわりカUPプロジェクト...
- 松山直哉 / おかわりカUPプロジェクト...
- 石川 / 熱戦! レッドスターベース...
- 松山直哉 / 管理栄養士 山下陽子先生の...

#### 最近のトラバ

#### お気に入り

#### ブログ内検索

 検索

#### QRコード



#### RSS1.0 | RSS2.0

#### アクセスカウンター

Total: 12064  
 Today: 24  
 Yesterday: 13

#### 読者登録

メールアドレスを入力して登録することで、このブログの新着エントリーをメールでお届けいたします。解除はいつでも簡単です。

登録

現在の読者数 1人

#### プロフィール

#### レッドスター

#### オーナーへのメッセージ

メッセージを送る